

福岡県立大学と 共に歩む会会報

平成 26 年 8 月 1 日号
第 241 号

発行責任者 秋吉 一明
編集責任者 鬼塚やよい

お別れ

重 藤

南京師範大学の交換留学生、黄菊さん、宋吉さん、鄭婕さんは1年間の留学生生活を終え帰国されます。最後の別れとなった7月30日12時に大学玄関で出発式をしました。先生・職員・学生・筑豊市民大学・共に歩む会と、沢山集まってお見送りをしました。

飛行機は15時40分の便が悪天候のため出発出来ず、大変遅くなって出発したそうです。前日遅くまで荷造りをしていたみたいで、待たされている間、お腹がすいたとか、眠たいとか色々な事を言っていました。お疲れ様でした。辛苦了!



大切な思い

宋 吉

時間の経つのは早いものです。私たち三人はすぐ中国に帰ります。今まで、本当にありがとうございました。

最初はちょっと不安な気持ちがあっって、一人では大丈夫かなあと思って、ルームメイトの真衣ちゃんはいろいろ教えてくれて、助かりました。真衣ちゃんは優しい人です。一緒に遊んだり、美味しいものを食べたり、真衣ちゃんと友達になって良かったです。そして、学校の先生の授業は面白くて、韓国留学生と仲良くなってきて、帰って寂しいかもしれませんが、皆のことずっと思います。

この一年間、沢山の「初めてする」ことがあります。初めて大学祭に参加して、初めて餃子を作って、初めてバイトをして、私にとっては大切な経験です。大学祭の時、人生初めて中国の水餃子を作りました。皆は美味しいといわれて、心から嬉しかったです。最初、バイトの時は心配して、自分は何のくらいできるかなあと思いながら、頑張ってみたら、自分ができるようになりました。店長さんから日本人



の真剣さを勉強しました。自分はバイトの4ヶ月の間に、成長したと思います。

学生支援班の方に連れていろんな処に遊んだり、美味しい料理を食べたり、本当にありがとうございました。皆のおかげで、充実した一年でした。そのうえ、歩む会の方に感謝しなきゃ。いつも私たちを連れて面白い処に行って、たくさんの風景を見せました。この前は蛍を見に行く時、本当に感動しました。初めて蛍の光を見た私にとって、何が人生は明るくなったそうです。最も感謝しなければならない人は秋吉さんです。異国でお爺さんみたいしてくれて、いつも美味しい野菜と米をくれて、ありがとうございました。そして、私はわがままの時、皆は私を許してくれてありがとうございました。

ちょっと残念なのは、日本のいろんな処に旅行しましたが、東京は行ってなかったです。もし機会があれば、また日本に来ます。この一年は楽しい思いばかりです。中国に帰って、この大切な思いを人生の宝として忘れないように守ります。本当にありがとうございました。

さようなら、田川

黄 菊

時間って不思議ですね。一年前の私は時間を早く経たせる方法がないかと毎日考えていました。一年後の今、私は逆にそれを必死に止めようとしても止められません。現実残酷です。時の流れはまさに波の流れのように、ひたすら私たちを陸地のほうへ送る一方です。もう少し自由に泳ぎたいのに。

つい先月私は二十四歳の誕生日を過ごしました。田川にいる間は二十三歳の私が二十四歳の私へと成長した一年だと言えるでしょう。この一年間は田川の皆様のおかげで、本当に大人になってきました。



学生支援班の方々に何度も遊びに連れて行っていただいて、本当に楽しかったです。何よりも韓国人留学生たちと仲良くなれるきっかけにもなって、日中韓三国の草の根交流を身に染みて感じていました。国籍を問わず、みんなはまず普通の人間です。言語の壁は多少あるにもかかわらず、心と心のコミュニケーションがスムーズに行って、文化の壁をそれほど感じていませんでした。帰国しても韓国人留学生との絆を断ち切らないようにしたいと思っています。

また、歩む会の皆様、本当にありがとうございました。田川へ来る前に既に先輩たちの話を聞いたところ、歩む会のメンバーはみんなやさしくて心の広いおじさんとお爺さんばかりですって。この一年間の付き合いを通して、歩む会の皆様からご馳走していただいたり、旅行に連れていただいたり、スナックで一緒に歌ったり、バーベキューパーティーに参加させていただいたりして生涯忘れられない美しい思い出になりました。しかし、後半になってバイトや論文のことで三人ともバタバタしてしまって歩む会の誘いに行けなくなることに実に残念に思っております。レポートや論文のストレスがこれほど溜まるとは思わなかったもので、絶体絶命の日々が一か月間ほど続きました。せっかく親切に誘っていただいたのに断ってしまって本当に申し訳ありませんでした。

そして、ここにおいて、私は特別に歩む会の古部さんに感謝の意を申し上げたいと思います。古部さんは盆栽の才能を誰よりも持っているにもかかわらず、いつも控えめで自己アピールしない人です。し

かも、男らしくて気前がいいと思います。勤勉ですごい努力家で、盆栽の仕事をしているときはいつも黙々とまじめな顔をしていました。人格的な魅力は数えきれないほどあるので、古部さんのお友達は本当に大勢います。成功するには、苦勞することを当たり前のことにしなければならないということを古部さんから学びました。

学生支援班と歩む会だけではなく、秋吉さんをはじめ筑豊市民大学の方々からも親切にいただきました。一緒に山登りに行ったり、文学の講座を受けさせていただいたり、美味しいものをご馳走していただいたり、中国語教室で中国語の会話をしたり、一緒に餃子を作ったりして本当に面白かった！筑豊市民大学のお爺さんとお婆さんたちの勉強ぶりを見て私は思わず「活到老，学到老」という中国の諺を思い出します。人生の道を歩みながら勉強していこうという意味でしょう。日本のお年寄りには若者たちに素晴らしい手本を見せていると思います。私も秋吉さんのようにいつまでも勉強を心がけましょう。「陶淵明」のように田園生活を送っている秋吉さんに見習わなければならないです。

勉強と言えば、私はもう一人の勉強家のことを思い出しました。生野さんのことです。生野さんと知り合ったのはお正月の時でした。ホームステイさせていただいて本当にラッキーに思っています。三日間も世話させていただいて本当に感謝しています。美容室を経営している生野さんは朗らかで気さくな女性です。そして子供時代からの英語マニアで、今も英語の試験や普段の勉強をコツコツと頑張っています。生野さんの電話をもらうたびに、必ず「勉強第一、勉強をおろそかにしちゃいけないよ」と言われます。生野さん、ご安心なさってください。私は生野さんの勉強する姿を見て自然にやる気が湧いてきますから。生野さんのような立派な女性はいつまでも私の思い出に焼き付けています。

アルバイト先のパン屋さんにも感謝しています。冬の暗く寒い夜道、冷たい大雨、年中逆風の悪天等々いずれも私を強くしてくれました。特に精神的に弱く泣き虫だった自分には、バイトの経験は人生の宝物のようなものです。最後の出勤の日に、いつも渋面をしている会長からアルバムと大きな西瓜をいただいた時の心情は永遠に忘れられないでしょう。「黄さん、お疲れ。よくやってくれた。これ、ご褒美よ。」という会長の言葉は私の強心剤となりました。この一年間諦めずに頑張りが続けたのは本当によかったと思っています。

ここまで書いても、まだまだ感謝したい人が多く残っています。私の恩師で、真の学問に励んでいる西岡先生、「永遠の少女」一末広先生、感性豊かな植木さんと面白い公平さん、可愛い重藤さん、親切的な柳瀬さんと永吉さん、いつも元気あふれる晴美先生、中寺さんをはじめロータリクラブの方々、いつも微笑んでいる岡田さん、夜遅くまで働いている優しい警備員さん、仲良くしてくれた韓国人留学生たち... 皆様、この一年間は本当にありがとうございました。

「さよならは別れの言葉じゃなくて、再び会うまでの遠い約束」と歌われるように、田川の皆様との再会を心より楽しみにしております。



日本での留学への感想

鄭 婕

一年間にわたる留学生活は間もなく終わろうとしています。思えば、日本に来る前、日本人と仲良くなれるかどうか、留学がうまくいくかどうか、日本での生活に慣れることができるかどうかと、いろいろと心配しました。でも、空港まで迎えに来てくださった柳瀬さんや学校の皆様の暖かい笑顔を見たたん、緊張と不安は一瞬にして解きほぐされました。



この一年間は学生支援班によって行われた留学生支援事業のおかげで観光地案内していただいたり、おいしい食事を連れて行っていただいたりして、すっかりお世話になりました。そして、歩む会にも留学支援をしていただき、いろいろと体験させていただきました。そのほか、日本の新年にあたって、厚子さんやいつも茶道の稽古を教えてくださいました末広先生の家でホームステイして、日本の新年の文化を実感しました。お世話になった人と一緒に過ごした時間は私たちにとってかけがえのない思い出です。この思い出を中国に持ち帰って、いつまでも大事にしていきたいと思います。

この一年間を振り返ると、日本語の勉強、バイト体験、文化の体験、日本人との交流、楽しいことばかりでした。しかも、楽しみながら、いい勉強になりました。日本人のマナーの素晴らしさ、清潔さに感心しました。きれいな青空やごみ一つも落ちていない町が一番印象深いです。公的場所においても、ごみを持ち帰る習慣はみんながつけています。そして、日本人は他人と付き合ったら、他人に迷惑をかけないように、よく相手の立場に立って考えることが分りました。

留学からの収穫と言えば、一番の収穫は何ととってもやはり歩む会や一緒に授業を受ける韓国人の留学生に出会え、そしてお友達になれたことだと思います。

とにかく、日本での留学生活はとても有意義で充実した一年間です。ここで、学生支援班の方々をはじめ、歩む会や筑豊市民大学のようなお世話になった皆様に深くお礼を申し上げます。

お知らせ

※北京中医薬大学の先生歓迎会

日時：8月19日（火）18時～20時くらいまで

場所：生協食堂 費用：3000円

※芦屋海岸・岩屋海岸クリーンキャンペーン

きれいな海を取り戻そう

日時9月7日 9時45分 芦屋町柏原漁港前

田川市郡からの参加者はバスが利用できます。

集合場所 田川市役所前 集合時間8時30分 帰路 芦屋町柏原漁港1時30分出発予定

申し込みは重藤事務局長まで

8月の定例会

8月11日（月）19:30～

場 所：県立大学 2号館 2階地域文化資料室

